

# 視点 市民が自主的に担う 新しい公共領域

NPO法人などの市民団体の活動が活発になり、社会の中で存在感を増している。

市民が社会にとって必要な仕組みをつくり、新しい公共領域を担うようになった。

児童保育は保護者の「必要」から生まれた

かつて、児童保育は、必要とする保護者が適当と思われる施設を借用し、会費を出し合って運営していた。親も仕事を続けられ、何よりも子どもにとって一人ぼっちで過ごす放課後が、支援員さんに見守られ、子どもたちで過ごす生活の場となった。やがて、働く親たちや支援する団体の強い働きかけにより、1998年児童福祉法改正によりに制度化されたものだ。今では、全国2万7千カ所以上の施設に、107万人以上の子どもたちが利用している。市内でも多くの小学校区に、児童保育所が設置されているが、働く親たちの強い願いと働きかけによって実現したものだ。

子育て支援も新たな視点で

昨年、花巻の助産師さんなどで開設し運営している子育て支援施設を見学した。

母親にとって、子どもという時間は、子どもが眠っていても、休まる時間ではないという。そんな母親の負担を少しでも軽くしてあげようと、子どもを預かり、ゆっくりと休んでもらう、アロマトリートメントなどでリフレッシュして一日を過ごしてもらおうという。母子支援というより、母親に着目した支援である。母親が子育てのストレスから一時的にでも離れる時間を持つことが、子育てには大切という視点である。市でもこの施

設に理解を示し支援しているため、料金も比較利用しやすい額に抑えられている。

学校に行けない子どもの多様な学びも

学校にいけない子ども、その保護者の悩みは子を持つ親なら察するにあまりある。これまでは、学校へ戻す政策や対応がほとんどであったが、不登校は、様々な要因や背景により結果として不登校状態となるという。これを周囲の人たちに問題行動であると受け取られない配慮が必要であり、不登校児童の休養の必要性が認められ、学校教育以外の多様な学びも認められた。2016年誕生した「教育機会確保法」である。

この法律も、不登校で悩む子どもたちを支援してきたフリースクールを運営する市民や、夜間中学を作る会などの市民団体が長い間取り組んできたものだ。

このように、大きな社会の変化に、その実態と向き合い解決しようとする市民が必要な仕組みを作り、新しい公共の領域を担ってきただけでなく、ここにいる市民は、その現場をよく知っており、解決の知識も行動力も持ち合わせている。多様で変化の激しい時代に、政治も行政も現場と向き合う姿勢こそ大切である。

## 議会：主な活動日誌

10月23日	産業建設常任委員会、会派代表者会、市政調査会と気仙地方森林組合との意見交換
24日	新政同友会会派視察（～26日）
27日	平成30年度予算に係る会派要望、月例会議
30日	議会運営委員会、派遣職員を対象とした議会研修会
11月1日	平成30年度予算に係る地区要望（～2日）
2日	産業建設常任委員会と併せて銀河農園との意見交換
8日	全員協議会、総務常任委員会、市政調査会役員会、会派代表者会
9日	気仙地区議会議員協議会 若手県に対する要望運動
10日	産業建設常任委員会の若手県水産技術センター視察
13日	若手県市議会議員研修会
14日	総務常任委員会と子育て支援団体等との意見交換
15日	議会運営委員会行政視察（～16日）
20日	教育福祉常任委員会の介護老人保健施設視察
22日	若手県後期高齢者医療広域連合議会定例会
24日	大船渡地区環境衛生組合議会第2回定例会、気仙広域連合議会第2回定例会、大船渡地区消防組合議会第2回定例会
27日	全員協議会、会派代表者会、国際リニアコライダー誘致推進議員連盟役員会
28日	総務常任委員会、市政調査会研修会
29日	若手沿岸南部広域環境組合議会定例会、若手・宮城県県市町議会議長会の関係省庁等に対する要望活動
30日	復興特別委員会、月例会議、国際リニアコライダー誘致推進議員連盟総会、市政調査会役員会、会派代表者会
12月2日	首都圏さんりく大船渡人会の集い
4日	総務常任委員会と高校生との意見交換
5日	議会運営委員会
8日	第4回定例会（初日）、教育福祉常任委員会、産業建設常任委員会、復興特別委員会幹事会、会派代表者会
13日	第4回定例会（一般質問）
14日	第4回定例会（一般質問）、議会運営委員会
15日	第4回定例会（一般質問）、議会運営委員会
19日	教育福祉常任委員会の特別介護老人ホーム視察
21日	第4回定例会（最終日）
22日	議会運営委員会
25日	全員協議会、月例会議、国際リニアコライダー誘致推進議員連盟役員会
26日	若手県沿岸都市議会連絡協議会の若手県に対する要望活動
27日	気仙広域連合議会第2回臨時会、大船渡地区環境衛生組合議会第2回臨時会、大船渡地区消防組合議会第2回臨時会
1月10日	総務常任委員会
11日	教育福祉常任委員会、議会運営委員会、復興特別委員会教育福祉部会
16日	復興特別委員会教育福祉部会、国際リニアコライダー誘致推進議員連盟総会
19日	議会運営委員会、復興特別委員会総務部会・産業建設部会
23日	第1回臨時会、全員協議会、月例会議、総務常任委員会、復興特別委員会総務部会
29日	市議会防災訓練、正副議長・常任委員長懇談会
30日	議会運営委員会
31日	総務常任委員会と高校生との意見交換

## 編集後記

厳しい寒さと道端に残る雪がなんとも冬の新しい年の幕開けを感じさせます。年号が平成に代わり30年目の節目の年であり、来年には新しい年号に代わるといつ一つの時代の転換期を迎えようとしています。

これからの新たな歩みに思いを馳せ、これまで以上に精力的に市民の皆様への負託にこたえる活動をもとに、議会だよりでは、知りたい聞ききたい情報をより解りやすく発信してまいりたいと考えています。

引き続きのご愛読とお気軽にご意見等の声を寄せて頂きますようお願いいたします。

## 市議会だより 編集委員会

委員長	今野 善信
副委員長	東 堅市
委員	金子 正勝
委員	奥山 行正
委員	田中 英二
委員	千葉 盛
委員	平山 仁

